

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(90歳代女性)あり、症状は発熱、肺炎です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は23例となりました。
- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(20歳代男性)(第42週追加報告分)あり、症状は下痢、粘血便、しぶり腹です。本年の累積報告数は10例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)ありました。症状は尿路感染症、発熱です。本年の累積報告数は33例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(90歳代女性)ありました。症状は発熱、咳、全身倦怠感、肺炎、菌血症で、感染経路は飛沫・飛沫核です。本年の累積報告数は61例となりました。
- 梅毒の報告が2例(20歳代男性及び女性)(第42週追加報告分含む)ありました。いずれも感染地域は国内で、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は59例となりました。
- 百日咳の報告が2例(10歳未満及び30歳代女性)ありました。本年の累積報告数は95例となりました。
- インフルエンザの定点当たり報告数は、0.41(28例)となり、前週の0.33(23例)からやや増加しましたが、まだ流行入りの目安とされる「1」は超えていません。流行シーズンが近づいていますので、手洗いやうがい、ワクチン接種等の予防に努めましょう。
○京都市こどもの感染症(令和元年11月号)「インフルエンザウ(イ)ルス流行に備えよ！」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

◆ 今週のトピックス: <レジオネラ症>

レジオネラ症の報告数は年々増加傾向にあり、本年43週まで累積報告数は全国で1,957例、京都市で23例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 8例(肺結核 4例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 260例(肺結核 113例, その他結核62例, 潜在性結核感染者 85例)うち喀痰塗抹陽性 55例】
- 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 23例】
- 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 10例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 33例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 61例】
- 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 59例】
- 五類:百日咳 2例【1月以降の累積報告数 95例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.41	28
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.28	98
	② RSウイルス感染症	0.95	41
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	39
	④ 手足口病	0.77	33
	⑤ 伝染性紅斑	0.63	27
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <レジオネラ症>

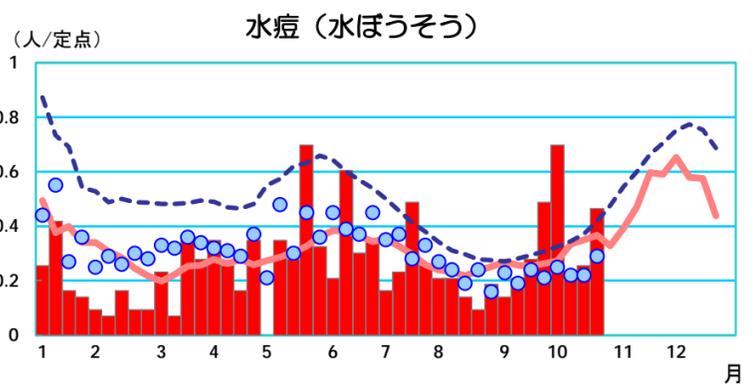
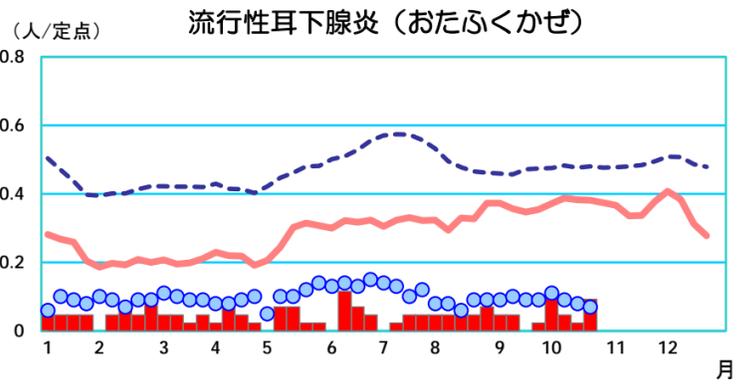
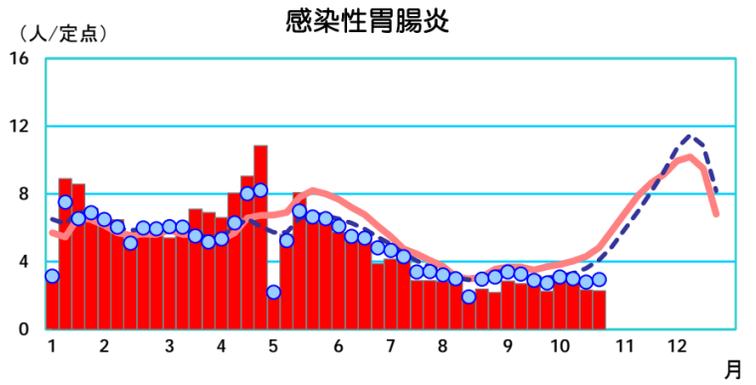
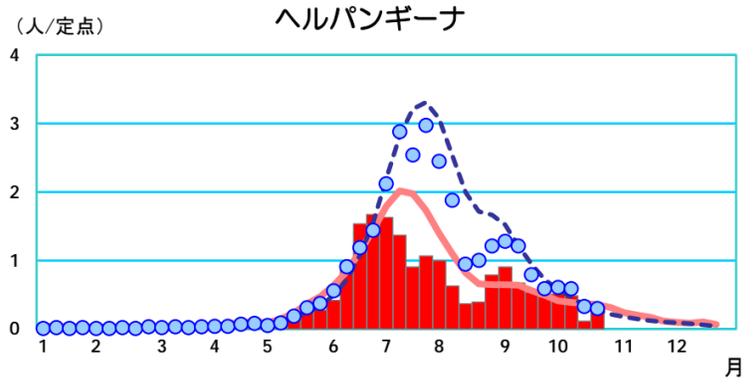
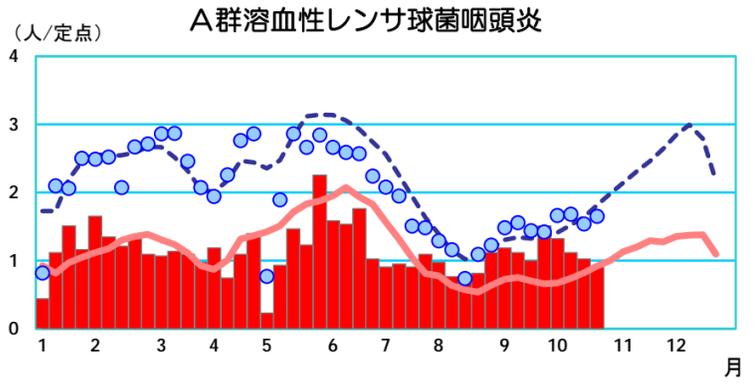
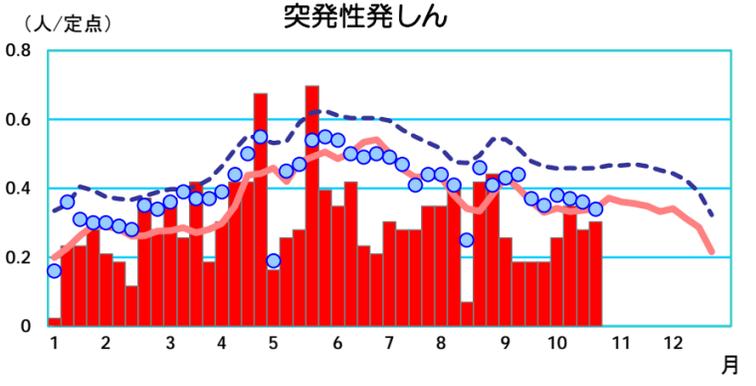
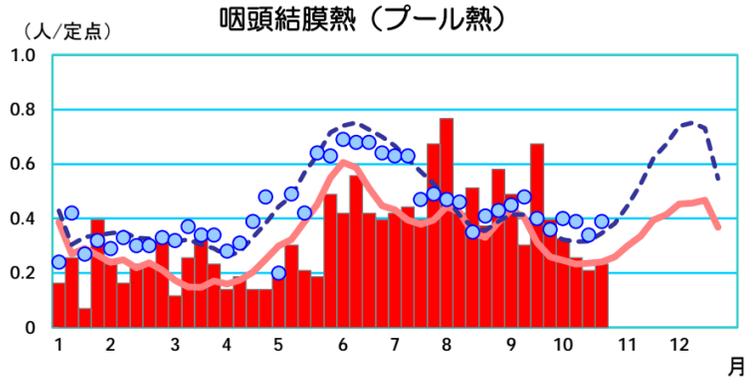
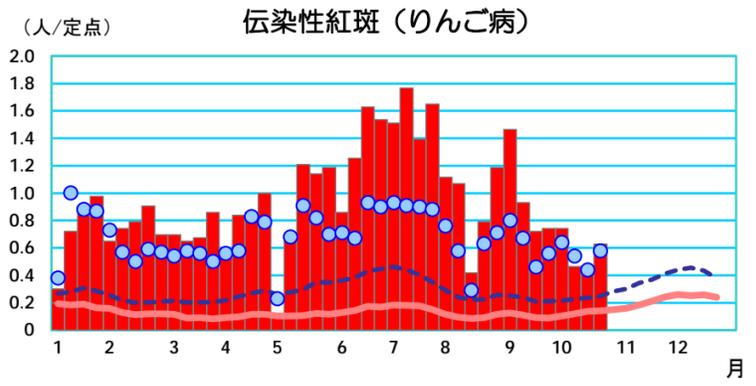
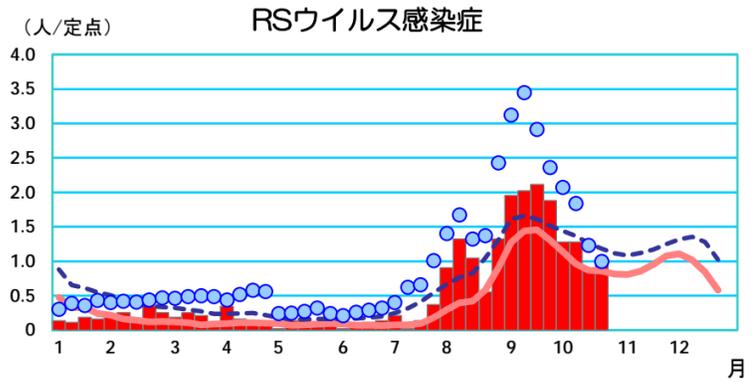
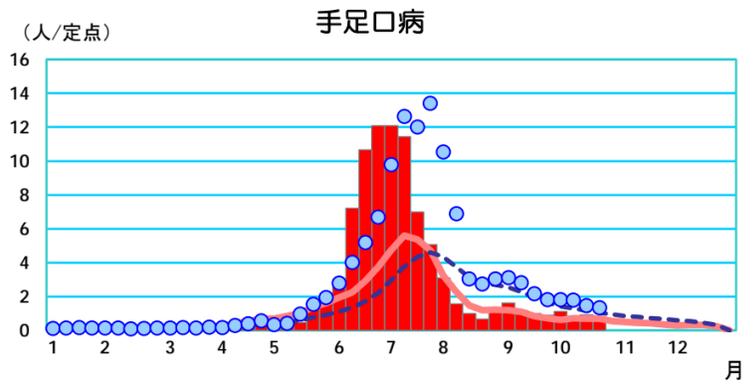
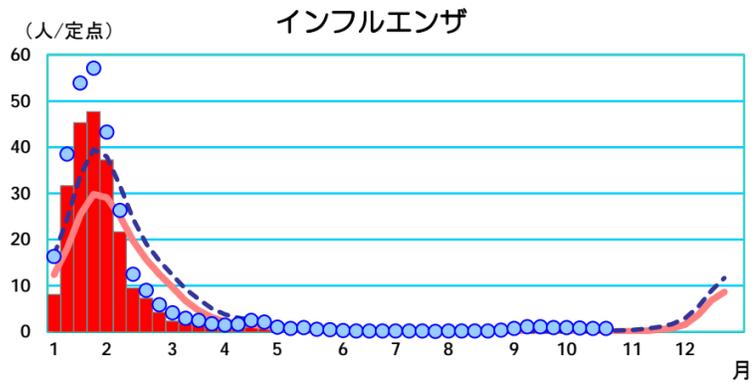
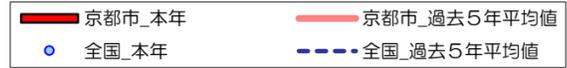
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年10月30日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第43週(10月21日～10月27日)トピックス: <レジオネラ症>

レジオネラ症の報告数は年々増加傾向にあり、本年43週まで累積報告数は全国で1,957例、京都市で23例となりました(図1)。2006年から今週までの京都市における報告数の男女比は、男78%女22%と約8割を男が占め、年齢別では男女合わせて50歳代以上が94%を占めました(図2)。また、同期間の感染経路は、水系感染(温泉、浴場施設等)が36%、塵埃(土木作業、庭いじり等)が6%、不明が57%でした(図3)。

レジオネラ属菌は、本来土壌などに生息する常在菌ですが、エアロゾルを発生させる人工環境(噴水等の水景施設、ビル屋上に立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等)や循環水を利用した風呂などにもアメーバを宿主として増殖しています。そして、細菌を含むエアロゾルや塵埃をヒトが吸引して感染し、肺胞マクロファージで増殖します。病原体に曝露されても必ずしも発症するわけではありませんが、細胞性免疫能の低下した場合に肺炎を発症しやすい疾患です。しかも、この肺炎は進行が早く、重篤な結果に至る可能性があり、高齢者、新生児及び免疫機能の低下を来す疾病の患者については特に注意が必要です。

発生防止対策は、多数の人が利用する宿泊施設、医療施設、社会福祉施設等の入浴設備、空気調和設備の冷却塔、給湯設備及び加湿器等の清掃と消毒です。特にこれらの施設の配管・タンク内部の「ぬめり」がレジオネラ属菌を含め細菌の温床となるため、注意が必要です。また、これらの清掃作業時や、土木作業・土いじりの際には、塵埃防止用マスクを着用しましょう。

図1 全国と京都市の報告数の推移

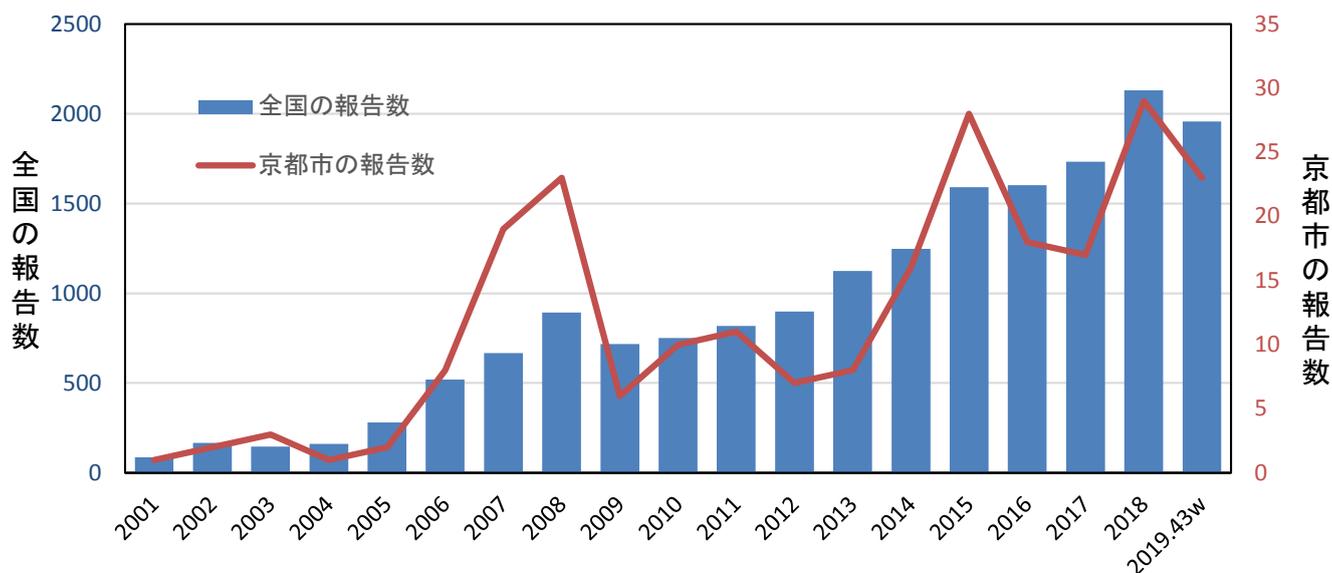


図2 京都市の男女別年齢構成報告数
2006年～2019年43週

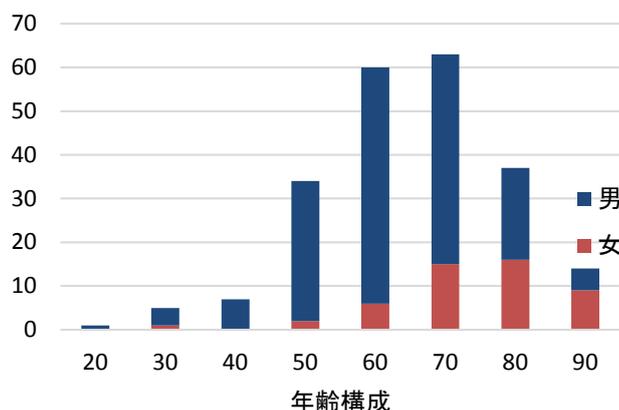
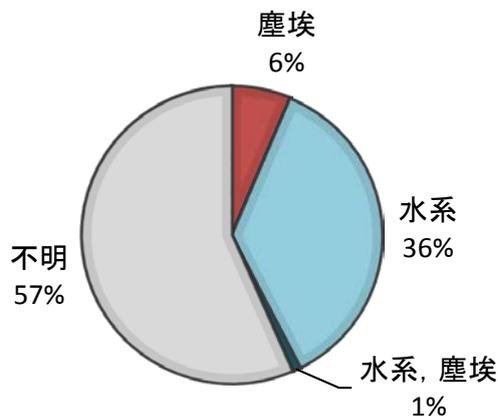


図3 京都市報告の感染経路(推定を含む)
2006年～2019年43週



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第43週

疾病,行政区別報告数

2019年10月21日～2019年10月27日

データ入手日:2019年10月30日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	2	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	1	2	-	4	4	2	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	2	-	-	4	5	1	3	4	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	2	1	1	2	4	1	2	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2	3	-	-	7	1	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	1	9	-	3	-	5	2	-	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	11	-	-	2	6	-	8	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	8	1	10	10	2	6	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	5	16	8	11	47	7	4	4	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	2	2	-	3	13	1	3	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	28	41	10	39	98	20	33	27	13	11	4	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	0.29	-	-	-	0.25	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	0.20	0.67	-	1.33	1.33	0.67	0.33	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	0.29	-	-	1.00	1.25	0.25	0.75	1.00	0.50	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	0.40	0.33	0.33	0.67	1.33	0.33	0.67	1.00	0.67	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.67	1.50	-	-	3.50	0.50	1.00	1.00	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	0.14	1.80	-	0.60	-	1.00	0.40	-	0.20	0.80	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	2.20	-	-	0.67	2.00	-	2.67	1.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	1.60	0.20	2.00	2.00	0.40	1.20	0.60	0.40	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	0.45	2.29	1.14	1.57	6.71	1.00	0.57	0.57	0.43	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	0.25	0.40	-	0.60	2.60	0.20	0.60	0.40	0.20	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.41	0.95	0.23	0.91	2.28	0.47	0.77	0.63	0.30	0.26	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第43週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年10月21日～2019年10月27日

データ入手日:2019年10月30日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	28	-	1	1	1	-	1	1	2	1	-	1	6	3	2	-	4	1	-	1	2
RSウイルス感染症	年齢3	41	12	7	12	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		10	-	1	3	4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		39	-	1	1	1	2	3	4	10	7	3	2	2	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		98	3	11	9	17	7	7	7	4	3	6	3	13	3	5	-	-	-	-	-	-
水痘		20	-	2	-	-	2	4	6	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		33	-	5	9	4	4	4	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		27	-	-	-	2	4	5	2	4	3	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	6	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		11	-	-	3	1	3	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		4	-	-	-	1	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.41	-	0.01	0.01	0.01	-	0.01	0.01	0.03	0.01	-	0.01	0.09	0.04	0.03	-	0.06	0.01	-	0.01	0.03
RSウイルス感染症	年齢3	0.95	0.28	0.16	0.28	0.19	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.23	-	0.02	0.07	0.09	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.91	-	0.02	0.02	0.02	0.05	0.07	0.09	0.23	0.16	0.07	0.05	0.05	-	0.07	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		2.28	0.07	0.26	0.21	0.40	0.16	0.16	0.16	0.09	0.07	0.14	0.07	0.30	0.07	0.12	-	-	-	-	-	
水痘		0.47	-	0.05	-	-	0.05	0.09	0.14	0.09	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.77	-	0.12	0.21	0.09	0.09	0.09	0.12	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.63	-	-	-	0.05	0.09	0.12	0.05	0.09	0.07	-	-	0.02	0.14	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.30	-	0.14	0.14	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.26	-	-	0.07	0.02	0.07	0.02	0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.09	-	-	-	0.02	-	-	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第43週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年10月30日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	50	47	32	36	23	28
RSウイルス感染症	91	81	55	55	39	41
咽頭結膜熱	29	17	14	11	9	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	65	57	48	44	39
感染性胃腸炎	116	97	129	119	100	98
水痘	12	21	30	9	11	20
手足口病	43	38	48	32	40	33
伝染性紅斑	31	32	32	20	20	27
突発性発しん	8	8	11	15	12	13
ヘルパンギーナ	23	20	22	21	5	11
流行性耳下腺炎	-	1	5	2	1	4
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	1	5	3	1	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	447	428	440	371	305	324

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.72	0.68	0.46	0.52	0.33	0.41
RSウイルス感染症	2.12	1.88	1.28	1.28	0.91	0.95
咽頭結膜熱	0.67	0.40	0.33	0.26	0.21	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.51	1.33	1.12	1.02	0.91
感染性胃腸炎	2.70	2.26	3.00	2.77	2.33	2.28
水痘	0.28	0.49	0.70	0.21	0.26	0.47
手足口病	1.00	0.88	1.12	0.74	0.93	0.77
伝染性紅斑	0.72	0.74	0.74	0.47	0.47	0.63
突発性発しん	0.19	0.19	0.26	0.35	0.28	0.30
ヘルパンギーナ	0.53	0.47	0.51	0.49	0.12	0.26
流行性耳下腺炎	-	0.02	0.12	0.05	0.02	0.09
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.10	0.50	0.30	0.10	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	10.03	9.62	10.34	8.54	6.97	7.29

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。